

「釧路・根室の簡易軌道」〔釧路市立博物館巡回展〕のお知らせ！

北海道の開拓を進める上で欠かせなかった「殖民軌道」。根室管内では、1924(大正13)年に厚床～西別～中標津が開通、その後次々と敷設されました。動力は、馬力からガソリン機関車になり、内陸の開拓地へ路線は伸びていきます。

戦後は、「簡易軌道」と呼ばれ、別海町には、奥行～上風連間(昭和38～46年)、上風連開南～浜中町茶内(昭和40～46年)の路線がありました。

人々だけでなく農作物、そして牛乳の輸送などに重要な役割を果たした「簡易軌道」の巡回展を実施します。ぜひ、お越しください。



- 期 間 平成29年3月3日(金)～16日(木)
- 時 間 午前10時～18時(日曜日は16時まで、月曜日は休館日です。)
- 場 所 別海町図書館

ふるさと講座・自然系第3回目

冬の野鳥観察の楽しみ方・オジロワシ・オオワシ観察会を実施しました

2月18日(土)、別海町立野付中学校長藤井薫氏を講師に迎え、参加者15名で実施いたしました。

はじめに、藤井氏から「オジロワシ・オオワシの越冬期における動態」についてのお話をいただきました。繁殖地・越冬地など、大きく美しいワシを数多く観察できるのは、道東という地域で、飛来数なども人為的作用(漁業・給餌)が大きく影響していることなどを説明いただきました。

お話の後は、風蓮湖周辺の観察地にワシを探しながらの移動となりました。残念ながら氷下待網漁の不漁もあり、多くのワシを観察することは、出来ませんでした。ポイントごとにオジロワシやオオワシの幼鳥・成鳥が姿を現し、その特徴を観察することができました。また、この時期エゾシカが多く集まる地区でもあり、多くのエゾシカには驚きとともに、自然との共存を考えさせられる場面もありました。



「昔のくらしと道具」を調べる授業に郷土資料館が活用されています。

小学校3年生の社会科には、「昔のくらしと昔の道具」という単元があります。2月は、この授業が開始され、多くの学校が当館を訪れます。

当館では、数年前から、「昔の道具」を見学するだけでなく、実際に道具を使う体験も行っています。体験する道具は、「炭火アイロン」「火のし」「洗濯板」「湯たんぽ」「灯油ランプ」「せんべい焼き」で、使い慣れない道具に悪戦苦闘しながら、昔の生活の様子を少しでも感じてもらおうと考えました。なかでも、重たいせんべい焼き器で、焼くせんべいは、おいしいと評判が良いです。

便利な生活をしている中で昔の道具を使うと、準備などに手間がかかり、その取扱いも不便さを感じますが、昔の生活の中では、常に密着し関連性のあるもので、知恵と工夫が隠されていることがわかったようです。今後もこうした体験を増やしていきたいと考えています。

また、一部資料は「昔体験セット」として貸出しも行っております。



【2月に来館いただいた学校】

2月 3日（金）	上春別小学校3年生	12名
2月 7日（火）	上風連小学校3年生	17名
2月17日（金）	上西春別小学校3年生	29名
2月21日（火）	別海中央小学校3年生	76名
2月28日（火）	西春別小学校3・4年生	17名



加賀家文書館特別展「バイバル」展示

●第5弾「西別川の献上鮭」江戸の将軍に送られていた献上鮭とは？（3月31日（金）まで）

別海町郷土資料館だより No.212

発行日 平成29年3月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802（FAX兼）

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 昔の道具体験は、数年前からはじめ、実際に道具を使えるということで、児童・先生方から好評です。先生が代わっても、引継がうまくなされているようで、ほぼ毎年来てくれます。残念なのは、遠距離、時間が長くとれない学校があり、ゆっくり見学とは、なかなか行きません。昔の道具以外にも沢山の貴重な物を見てほしいと考えます。（K.I）